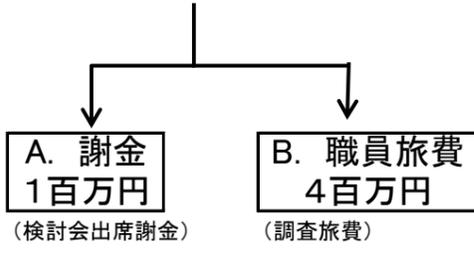


行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	医薬品等研究開発動向等調査費		事業開始年度	昭和63年度		作成責任者
担当部局庁	厚生労働省医政局		担当課室	研究開発振興課		椎葉 茂樹 研究開発振興課長
会計区分	一般会計		上位政策	—		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	医薬品等の研究開発を促進するためには先進的な研究開発の動向を把握し、今後の施策の方向性を検討するほか、振興策が必要な各分野別の状況に応じて施策を実施する必要がある。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	先進的な研究開発の動向を文献、学会等との意見交換の場、視察等の機会を利用して把握し、振興策や必要な規制等の検討を行う。日本古来の漢方の原料となる薬用植物の栽培研究への支援、日本への導入が望まれながらも患者数が少ない等の理由により開発が進まない希少疾病医薬品等の開発を支援するために必要な情報の収集等を行う。					
実施状況	学会等との意見交換や視察のために職員を派遣 また、専門家を招集し今後の方針等について議論を行った					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	17	21	20	20	20
	執行額	17	16	16		
	執行率	100%	76%	80%		
	総事業費(執行ベース)	17	16	16		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	予算の執行は全て厚生労働省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。				
	見直しの 余地	医薬品等の研究開発を促進するためには先進的な研究開発の動向を把握し、今後の施策の方向性を検討するほか、振興策が必要な各分野別の状況に応じて施策を実施する必要があるため、今後も適切な運用を心がけて事業を行っていく。				
予算監 視の・ 所効 見率 化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 予算と執行の乖離の要因等を精査し、事業実績等を踏まえ予算の縮減を図る必要がある。					
補 記						

厚生労働省
20百万円
(研究開発の促進等を企画する)



その他事務費
15百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額	費目	使途	金額
諸謝金	出席謝金	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額	費目	使途	金額
旅費	調査旅費	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額	費目	使途	金額
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額	費目	使途	金額
計		0	計		0